

広報

ただみ

11
2013 月号
No. 522
平成25年11月10日

只見ユネスコエコパーク シンポジウム・・・2～3

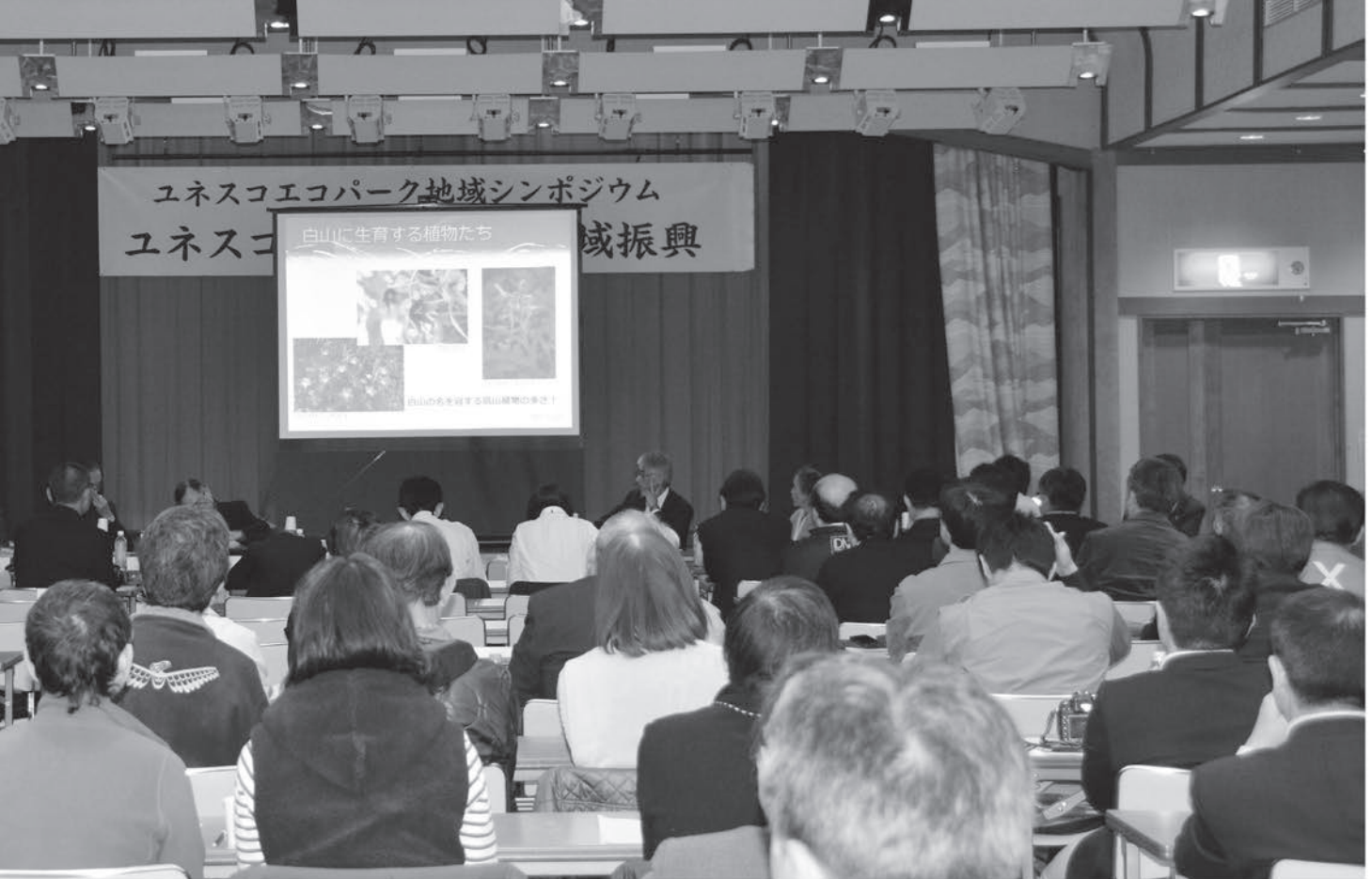
平成25年度只見町表彰式/
平成25年度秋季消防検閲式・・・4～5
只見町駅伝競走大会/
只見町小学校体育交歓会・・・6～7
只見町食生活改善委員会
「南・賀屋賞」受賞 他……………8～9
町の話……………10～11

今月の表紙

只見町駅伝大会でゴールテープを切った羽染達子さん。うるわし☆レディーズの一員として大会に参加しましたが今年を最後の大会と決めアンカーを務めました。

しかし走り終わると悔いが残る走りでもまた来年も頑張りたいという気持ちがわいてきたとの事。ぜひまた頑張って走って頂きたいと思います！

ユネスコエコパーク地域シンポジウム 『ユネスコエコパークと地域振興』



ユネスコエコパーク地域シンポジウムは、多くの方に制度の概要や自然と共存するまちづくりについて理解を深めてもらうため10月27日に季の郷湯ら里を会場に町が主催となり開催しました。シンポジウムには町内外から約百名の参加者があり、開催にあたり目黒町長は「只見町はユネスコエコパークを活用したモデル地域を目指す。そのためには地元の方々の理解や協力、参加が必要です。」と述べると文部科学省日本ユネスコ国内委員会の加藤事務総長からの「ユネスコエコパークは循環型地域を作る地域振興手段の一つです。この制度への理解を深めて頂き地域振興に向けた取り組みを行なって欲しい」というメッセージが伝えられました。

シンポジウムは「ユネスコエコパークと地域振興」をテーマに第1部として日本ユネスコ国内委員会MAB分科会委員を務める佐藤哲氏による基調講演が行われ、第2部は「ユネスコエコパークの活用事例」として綾町や志賀高原などからエコパークの効果や取組みについて発表されました。第3部のパネルディスカッションでは来場者からの質問に答える他、ユネスコエコパーク活動の活性化や認知度向上についてどのように取り組んでいけば良いかなどが話し合われました。また、これからは自然を守るだけではなく、自然と人が共に生きていく社会が重要になるという意見も発表されました。

文部科学省主催のネットワーク会議とあわせ3日間にわたる会議となりましたが、国内ユネスコエコパーク担当者が情報・意見を交換する事が出来た非常に意義のある会議となりました。



▲ネットワーク会議の様子

10月25、26日の両日、季の郷湯ら里を会場に文部科学省、日本ユネスコ国内委員会主催の日本ユネスコエコパークネットワーク会議の初会合が開催されました。登録されている「志賀高原」「白山」「大台ヶ原・大峰山」「綾」「屋久島」と新規登録推薦中の「南アルプス」「只見」の関係者が集まり各地域における取組み等の発表や今後活動を活発化していくためにはどうしていけば良いのかなどの意見交換が行われ、国内におけるユネスコエコパーク活動の推進が図られました。



国際的な仕組みを

取り入れ使いこなす
地域環境知と

ユネスコエコパーク
日本ユネスコ国内委員会
MAB分科会委員

佐藤 哲 氏



ユネスコエコパークは地域での取組みが非常に大切である。特に移行地域が非常に大切で、これは地域の人々が主役となって作っていく必要がある。エコパークを活かすには地域の力が無くてはならないが、結果は急がずに、少しずつ焦らずゆつくりと、でも着実に工夫を積み重ねていき地域がゆるやかに発展し生活が向上する事で、子どもたちが住みたい、帰ってきたいと思えるような素晴らしいふるさとを育んで欲しいと考える。

ユネスコエコパークの

活用事例
「綾ユネスコエコパーク」

宮崎県綾町役場企画財政課
照葉樹林文化推進専門監

河野 耕三 氏



綾町では経済自立をする為に照葉樹林の保護などをゆつくり我慢をして50年に渡り続けてきた実績がある。地元の方は当初は照葉樹林に価値があるか分からなかったが外部から高い評価を受けユネスコ認定後には地元の方も故郷に対する自信と誇りを持つようになった。また、外部からの視察が増え、ふるさと納税は宮崎県を上回る金額が寄附されるようになった。現在は若く子供連れの夫婦もIターンで転入してきており人口も増えてきている。

平成25年度 只見町表彰式

受賞者は次のとおりです。(敬称略・順不同)

■功労表彰■

- ▽酒井正直(長年にわたり消防団員を務め自治体消防に貢献)
- ▽星正春(長年にわたり消防団員を務め自治体消防に貢献)
- ▽本名高喜(長年にわたり消防団員を務め自治体消防に貢献)

■顕彰■

- ▽目黒敏彦(納税組合長15年6ヵ月)
- ▽酒井敏(納税組合長17年6ヵ月)
- ▽角田藤彦(納税組合長16年6ヵ月)
- ▽三瓶由利子(民生児童委員17年10ヵ月)
- ▽飯塚孝子(民生児童委員17年10ヵ月)
- ▽福崎ミチ子(民生児童委員16年7ヵ月)
- ▽渡部和美(スポーツ推進委員(体育指導委員)16年)

■善行表彰■

- ▽鈴木庄三(「自然首都・只見」応援基金に30万円を寄附)
- ▽横山富久美(献血30回以上)
- ▽須佐かおり(献血30回以上)
- ▽磯部モモ子(病弱者の家庭内看護5年以上)
- ▽五十嵐スミ子(病弱者の家庭内看護5年以上)
- ▽酒井芳子(病弱者の家庭内看護5年以上)
- ▽馬場英弥(病弱者の家庭内看護5年以上)
- ▽三瓶勇(病弱者の家庭内看護5年以上)
- ▽梁取 昭和・ハルミ(病弱者の家庭内看護5年以上)

■永年勤続表彰■

- ▽三瓶富美男(消防団員31年6ヵ月)
- ▽酒井敏(消防団員31年6ヵ月)
- ▽五十嵐潤之介(消防団員32年11ヵ月)
- ▽岩瀨朗(消防団員31年6ヵ月)
- ▽渡部公平(消防団員31年3ヵ月)
- ▽菅家英祐(消防団員31年6ヵ月)
- ▽佐藤泉太(消防団員30年6ヵ月)

■感謝状■

- ▽電源開発株式会社 東日本支店 田子倉電力所
(長年にわたり献血会場の提供と職場ぐるみでの献血協力)
- ▽株式会社 J P ハイテック 東日本カンパニー 田子倉事業所



▲表彰を受ける三瓶由利子さん

只見町表彰式は10月22日、季の郷湯ら里を会場に行われ、長年地域のために貢献して頂いた町民など29名の方を只見町表彰条例に基づき表彰しました。
表彰式には南会津地方振興局長や菅家 一郎衆議院議員、星公正福島県議会議員らが出席し受賞者への祝辞を述べ、受賞者を代表して長年にわたり納税組合長を務めた角田藤彦さんが「本日はありがとうございます」とお言葉を述べ、これからは納税の向上のために努めていきたいと思います」と謝辞を述べました。



▲受賞者を代表して謝辞を述べる角田勝彦さん

(長年にわたり献血会場の提供と職場ぐるみでの献血協力)
▽特定非営利活動法人こまどり会(長年にわたり知的障がい者の社会参加支援活動に尽力)

一人ひとりが「火の用心」 平成25年度 秋季消防検閲式



▲只見町消防団通常点検のようす

10月13日明和小学校校庭を会場に秋季検閲式が行われ、消防団員210名、婦人消防隊30名が参加し日頃の訓練の成果を発揮し規律のある動作を披露しました。また、検閲式では団員の功績をたたえる表彰式が行われました。表彰受賞者は次のとおりです。(敬称略)

【消防団長表彰】

●優良章

目黒司(只見)、渡部賢史(福井)、渡部隆義(福井)、渡部順三(小川)、五十嵐順(福井)、目黒大輔(坂田)、酒井智也(坂田)、堀金薫(小林)、堀金賢二(小林)、星圭(二軒在家)、佐藤文隆(大倉)

●精績章

馬場充(蒲生)、矢沢和雄(塩沢)、船木孝行(黒谷)、鈴木豪(黒谷)、小林吉男(布沢)、梁取東(布沢)、三瓶鍊(大倉)

●功労章

山内衛(只見)

【消防庁長官表彰】

●永年勤続功労賞

佐藤長次(大倉)

【福島県知事表彰】

●精勤章

菅家和人(只見)

●永年勤続章

酒井正直(叶津)、三瓶節(長浜)、梁取浩(大倉)、河原田浩(梁取)

●優良青年消防団員章

目黒五生(小林)

●親子等消防表彰

目黒浩二(只見)、目黒達矢(只見)

【福島県消防協会表彰】

●功績章

三瓶一也(寄岩)

●精勤章

渡部文彦(福井)、船木弘輝(大倉)、五十嵐敦彦(坂田)

●感謝状

新国宏明(只見)、新国秀一(只見)、星粒二(福井)

【福島県消防協会南会津支部表彰】

●功績章

星健之(黒谷)、五十嵐伸(黒谷)、横山修一(楢戸)、五十嵐勝明(只見)

●優良章

目黒祐紀(楢戸)、松永孝二(只見)、長谷部達也(只見)、五十嵐徹(黒谷)、三瓶金市(蒲生)、渡部智和(小川)、柳林一弥(黒谷)、三瓶竹伸(長浜)、角田昌也(布沢)、舟木努(布沢)、印南正和(小林)、目黒五生(小林)、馬場 誠(塩ノ岐)、山内喜伸(梁取)

●勤続章

吉津高弘(只見)、島谷裕彦(黒沢)、長谷部達也(只見)、黒田信一(蒲生)、五十嵐貴則(蒲生)、五十嵐徹(黒谷)、渡部憲(福井)、酒井倫明(楢戸)、渡部智和(小川)、皆川淳(只見)、酒井敦(長浜)、目黒夏樹(長浜)、柳下勉(熊倉)、齋藤聡(亀岡)、角田昌也(布沢)、大竹信広(布沢)、印南正和(小林)、目黒五生(小林)、山内浩二(二軒在家)、吉津健(大倉)、菊地淳(梁取)、山内喜伸(梁取)

【消防団退職表彰状(銀杯)】

●退職報償

新国宏明(只見)、新国秀一(只見)、渡部克哉(福井)、星粒一(福井)、菅家淳夫(黒谷)、山内孝之(二軒在家)、須佐正弘(黒谷)

【町長・消防団長連名感謝状】

●感謝状

馬場邦廣(黒谷)



▲婦人消防隊による分列行進

消防団員・婦人消防隊 募集中!!

災害に強い町づくりを実現するため町では消防団員、婦人消防隊を募集しています。入団を希望される方は下記までお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ
町民生活課 町民班 ☎0241-82-5100

スポーツの秋

全力を出し切り頑張りました！

只見町小学校体育交歓会

まだ暑さも残る10月2日に町下運動広場で只見町小学校体育交歓会が開催され、町内小学校の5・6年生が参加しました。

この日の為にそれぞれの小学校では、朝や放課後、体育の時間を使って陸上練習に取り組んできました。

ソフトボール投げの競技では朝日小学校6年の渡部倫君と横山大輝君が大会新記録を出しました。この記録は本人がこれまで一生懸命練習した事が発揮された事と、保護者の方や町民の方が応援に

来てくれた事が力になり出せた記録だと思います。

この体育交歓会でベストを尽くせた児童、また力を出し尽くす事が出来なかった児童もいると思いますが、応援ではどの児童も一生懸命に友達を応援してベストを尽くしてくれたと思います。「交歓会」という名前だけあって競い合うだけでなく、このような素晴らしい一面も見せてくれた素晴らしい大会でした。



▲男子100m決勝



▲女子80mハードル決勝

第43回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表(3位まで)

競技	1000m(男子) 800m(女子)	100m	80mハードル	4×100m リレー	走り高跳び	走り幅跳び	ソフトボール投げ
男子	1 菅家 尚真(朝・6) 3'39"6	目黒 佳祐(朝・6) 14"4	布沢 陽斗(明・6) 14"5	明和A 1'01"4	目黒 佳祐(朝・6) 130cm	大竹 力(明・6) 372cm	渡部 倫(朝・6) 58m84(大会新)
	2 飯塚 優(明・6) 3'43"6	五十嵐彪斗(明・6) 15"1	鈴木凜太郎(只・6) 14"5	朝日A 1'05"8	布沢 陽斗(明・6) 115cm	飯塚 優(明・6) 344cm	横山 大輝(朝・6) 55m75(大会新)
	3 高階 涼矢(只・5) 3'47"1	渡部 倫(朝・6) 16"2	馬場 夕稀(朝・6) 15"7	只見A 1'07"6	皆川 翔(朝・6) 100cm	馬場 夕稀(朝・6) 342cm	五十嵐彪斗(明・6) 52m99
女子	1 山内 優(只・6) 2'57"6	渡部 美依(朝・6) 15"6	鈴木 萌(只・6) 15"2	朝日A 1'05"6	増田 樹(朝・6) 113cm	渡部 美依(朝・6) 387cm	菅家 夏芽(只・6) 41m59
	2 増田 樹(朝・6) 3'00"8	山中 千夏(朝・5) 15"9	新国 理紗(只・5) 16"1	只見A 1'06"2	鈴木 萌(只・6) 110cm	梁取 結花(明・5) 343cm	山内 夏耶(明・6) 34m11
	3 星 妃乃(朝・5) 3'01"0	梁取 結花(明・5) 16"0	馬場 遊茶(朝・5) 16"4	朝日B 1'09"6	関谷恵里香(只・6) 108cm	増田 実緒(只・5) 331cm	山中 千夏(朝・5) 33m75

※氏名(学校名・学年)です。なお、学校名は只:只見小学校、朝:朝日小学校、明:明和小学校の略です。



▲一斉にスタートする選手たち

例年よりも1週間遅い10月20日に只見町と只見町体育協会が主催する第51回只見町駅伝競争大会が開催され、中学生から大人まで町内外から26チームが参加しました。

今年はいいにくの雨模様となつてしまいコンディションが悪い中でのレースとなりましたが、すべての選手が怪我をする事もなくタスキを繋ぎゴールすることが出来ました。

また、只見町食生活改善推進員の皆さんに用意して頂いた美味しいとん汁500杯は走り終わった選手の皆さんに無料で振る舞われ、雨に濡れ冷えた身体を温めてくれました。成績は次のとおりです。

【中学男子の部】

- ①南会津中学校駅伝部
- ②只見駅伝部「やまびこ」

【中学女子の部】

- ①南会津中学校駅伝部
- ②只見駅伝部「なすの」

【一般女子の部】

- ①うるわし☆レディース
- ②ポカレディース

【男女混合の部】

- ①南会津高校スキー部「L」
- ②只見高校
- ③只見町役場

【一般男子の部】

- ①南会津高校スキー部「M」
- ②消防署 A
- ③JA あいづ共済

第51回

悪天候の中も繋がったタスキ

只見町駅伝競争大会



▲今年も美味しいとん汁ありがとうございました



▲とん汁で身も心もホクホクです



▲必死にタスキを繋ぐランナー

平成25年度日本食生活協会「南・賀屋賞」を受賞

只見町食生活改善推進員会（会長 川合はる子氏・会員23名）は、平成25年度第44回「南・賀屋賞」を受賞されました。受賞式は10月11日に開催された「第44回全国食生活改善推進員協議会」（鹿児島市民文化ホール）の席上で参議院議員 山東昭子さんより賞状、盾及び副賞（賞金10万円）が手渡されました。

只見町の受賞は県内では、福島県食生活改善推進連絡協議会、二本松市食生活改善推進員会安達支部、喜多方市食生活改善推進員会に継ぐ受賞となり、町の部では県内初の受賞となりました。



▲鹿児島県での受賞式の様子



▲目黒町長へ受賞を報告する川合会長(右)

「南・賀屋賞」とは

日本食生活協会の創設に尽力した故南喜一副会長と、協会の発展に貢献した故 賀屋興宣会長の遺志に基づき設けられた賞で、食生活の改善活動や地域住民の健康づくりに尽力された団体に贈られる食生活改善関係では最高の賞です。

道の駅検討懇談会の活動について

道の駅検討懇談会は10月2日、11日、30日の3回に渡り懇談会を実施しました。その中で、只見型「道の駅」を考えるにあたり、交通量そのものが少ない只見町では「道の駅」を目的地として来てもらえるだけの魅力あるものにする必要があるという意見が出されました。また、その魅力はどこにでもあるようなものではなく、商品も含めて他の道の駅には無い突出した魅力が必要である事、また、道の駅を考える前にまず町の価値を仕事とお金に変えていくための仕組みづくりが最も重要であり先に決めるべき事だという考えも懇談会の中で示されました。

今後の道の駅検討懇談会の活動としては、只見町ならではの「価値」（大事にしたいもの）のや自慢したいもの）を見つけ、それをどのように魅力あるものにしていくことが出来るかを12月までさらに2回程度の懇談会を実施し議論を交わし、先進地研修などを実施して只見型「道の駅」構想をまとめていく予定となっております。



▲活発な意見が飛び交う懇談会

災害に備えて

発電機、投光器を避難所へ配備

町では災害時に備えて、発電機37台と投光器7台を電源立地地域対策交付金事業を活用して今年度購入いたしました。発電機は各地区の避難所へ、投光器は地区センター、小・中学校などの長期避難所に配備する事とし、10月31日に町民体育館ピロティに各集落の代表者などにお集まり頂き発電機メーカーによる取扱い説明が行われた後に受け渡しを行いました。



▲操作説明を熱心に聞く集落の代表者など

3年ぶりの運行

只見・金山町民号お座敷列車運行

平成23年7月新潟・福島豪雨災害により中止となつていました只見町民号が只見・金山町民号として3年ぶりに運行されました。この事業はJR東日本の主催事業で10月18日に只見駅を発し、鉄道・バス・フェリーを乗り継いで佐渡を観光する旅として企画され只見町40名、金山町40名の計80名が参加しました。

列車は床が畳でゆったりくつろげる専用車両となつており、景色を見たりカラオケをしたりしながらそれぞれの参加者が旅を楽しみました。また今回は只見・金山町民号として初めての運行でしたが、只見町民と金山町民が一緒に旅をする事で交流を深め、両町の町民は只見線全線開通を目指す事を誓いました。町民号は只見線利用促進事業として次年度以降も実施予定となっております。



▲お座敷列車内のお様子



▲参加者で記念撮影

教育委員に辞令交付

只見町議会9月会議において教育委員の選任について同意がなされ、新教育委員に梁取の菊池裕子さんが就任しました。

菊池さんの任期は、平成25年10月1日から平成29年9月30日までとなっています。就任にあたり菊池さんは「只見町の教育発展の為に頑張っていきたいと思っております」と抱負を話されました。



▲新教育委員に就任された菊池裕子さん



▲雨が降る中それぞれのペースでゴールを目指す参加者



▲入賞記念にゲストと記念撮影

マイペースで完歩・完走 トリムウォーク&ラン

「自然首都・只見トリムウォーク&トリムラン」は10月13日只見駅を発着点として行なわれました。この事業は商工会が主体となり開催され、今年は地球元気村村長の風間深志さんと日本を代表するスキーマルディック複合選手の荻原健司さんをゲストに招き127名の方が競技に参加しました。

トリムウォーク&トリムランはあらかじめ自分が何分で歩けるか、走れるかを予想し自己タイムを申告してその誤差が一番少ない人が優勝となる早さを競う競技ではないので子供からお年寄りまで参加する事ができ、参加者全員に優勝のチャンスがあります。距離は3.5キロ、5キロ、10キロの3クラスで行なわれ途中天候が崩れる場面もありましたが参加者は全員が無事にゴールする事が出来ました。

食欲の秋 うまいもんまつりで舌鼓

10月12、13日の両日、JR只見駅前特設会場にて「奥会津只見うまいもんまつり」が風評被害や豪雨災害からの復興を目指し昨年に引き続き行なわれました。県内ご当地グルメだけではなく、お隣の魚沼市グリーン焼きそばや三条市のカレーラーメンなどが並び参加者は美味しい料理でお腹を満たしていました。



▲美味しい料理に大満足



▲結果報告に来てくれた野球部とバレー部のキャプテンら

只見中学校 全会津中学校新人大会 大活躍!!

全会津中学校新人大会で、只見中学校の生徒一人一人が一生懸命にプレーをした結果、野球部は平成20年度以来となる優勝、バレー部は準優勝という結果を残しました。また、卓球部も男女共に予選リーグ3位、剣道部は男子は予選リーグ4位、女子はベスト8など各部が素晴らしい成績を残しました。



▲ 百歳を迎えた矢澤オキミさん

百歳賀寿おめでとうございます 矢澤 オキミさん(二軒在家)

矢澤オキミさんが10月16日にめでたく満百歳の誕生日を迎えられ、親族や関係者同席のもと知事賀寿の贈呈式が南会津町のすがやで行われました。

御家族の要望で、オキミさんにはお祝いする事を誕生日当日まで内緒にしていたのですが、会場で皆さんから百歳の祝福を受けオキミさんはとても喜んでおられました。

オキミさんの長寿の秘訣は「わがまま」をする事だそうです。

これからも元気にお過ごし下さい。

2人で歩んだ半世紀 しあわせ金婚夫婦表彰式

只見町老人クラブ連合会などが主催する「しあわせ金婚夫婦表彰式」が10月23日に明和地区センターで開かれました。今年は町内25組のご夫妻が結婚50年を迎え、表彰式には21組が出席しました。只見・朝日・明和地区の各地区代表のご夫妻に表彰状と記念品が贈られ出席者はそれぞれの夫婦円満を喜び合いました。



▲ これからもますます夫婦円満でお元気にお過ごしください



▲ 初めての体験でしたが何とか作業を終えました

布沢集落で稲刈り 宇都宮大学サークル「D-フレンズ」

10月13日に布沢集落で、宇都宮大学の学生サークル「D-フレンズ」が春に訪れ植えた稲の稲刈りを行いました。「D-フレンズ」は、平成22年度の福島県の「学生の力を借りた地域活性化」事業で布沢集落に来た同大学ゼミの学生を中心に作られ、布沢集落に来るようになり4年目になります。前日には布沢集落の方と懇親会を行うなどの交流も図り地域に溶け込んだ活動を行なっています。

今回収穫した米の一部は今年の大学祭で販売するとの事です。

広報ただみ診療所

朝日診療所

歯科医師

齋藤さゆり



「ブラキシズム」

「ブラキシズム」聞きなれない言葉だと思います。一般的には「歯ぎしり、食いしばり」と言われる行為です。

慢性的な肩こりや頭痛に悩まされている方がいらつしやると思いますが、これは食いしばり（噛み締め）や噛み合わせが原因で起こる症状の可能性があります。

激しい肩こりや頭痛を伴うめまいや動悸、原因の分からない疲労に苦しんでマッサージなどを施術して貰っても、状態が改善されるのは一時的で、時間が経てばすぐに辛い肩こりがぶり返すようなら、原因は噛み合わせの異常かも知れません。頭とあごは非常に近い位置にあります。あごの筋肉が緊張すると血行が悪くなり、頭への血液がうまく運ばれずに頭痛や首・肩がこる症状へと繋がるのです。「ブラキシズム」には大

きく分けて3つの種類があります。

①グライディング

上下の歯を噛みあわせのまま、左右に横滑りさせて「ギリギリ」と音を立て擦り合わせる行為。

②タッピング

物を食べているかのように、上下の歯を打ち合わせ「カチカチ」と音を立てる行為。

③クレンチング

上下の歯を噛みあわせのまま、食いしばる行為。あまり音は出ません。

ブラキシズムは、ご本人が気づきにくいという点もまた大きな特徴と言えます。

口腔内の症状としては、歯の破折、咬合性外傷、歯の動揺、異常摩擦、口腔粘膜、舌などへの歯列の圧痕などが挙げられます。

口腔外の症状としては、頭痛、偏頭痛、肩こり、顎関節の疼痛、開口障害などが挙げられます。

「ブラキシズム」の治療法は、未だ決定的なものはありません。まず大切なことは、自分自身が歯ぎしりや食いしばりをしていいるかどうかを自覚することです。

自覚がある場合、スプリント療法、自己暗示療法などで軽減していきます。また、ストレスの少ない生活を送ることが、最も良い治療法です。

噛み合わせに神経質になることはありませんが、歯が抜けて無くなってもそのままにしておいたり、食事の時に片側だけを使って噛んだり、いつも歯を強く食いしばったりすることはよくありません。そのような時は歯科医に相談をしてください。

これから冬支度、年の瀬と忙しい時期を迎えますが、歯やご自分の健康のために力を入れて「笑顔」で乗り切っていきましょうね。

今月の運動

今月号より、自宅の隙間時間でできる関節痛予防や介護予防の運動を紹介していきます。今月は腰痛予防とバランス訓練を兼ねた運動をご紹介します。

四つん這いになり片方の手を地面から離し伸ばします。伸ばしている手と反対側の足を地面から離して伸ばします。夜寝る前などに挑戦してみましよう。

手と足を同時に伸ばすことが難しい方は、片足を伸ばすだけでも、腰痛予防の運動となりますので、挑戦してみてください。



▲5秒×5回（片方）を目安に頑張ってみましょう。

町民が生んだ只見の宝「民具」②

民具収集のはじまり (その1)

民具の収集を始めた昭和四十年ごろの只見町の状況を簡単に振り返ってみます。

昭和三十四年八月、旧三か村の合併が成り、新生只見町が発足しました。翌三十五年には田子倉ダムが完成、さらに大鳥ダム・滝ダムが着工され、電源開発ブームが続きます。そこに高度経済成長の波が急速に押し寄せてきて、只見町は、ほかの山村地域より一足早く、社会の諸相を大きく変ぼううさせようとしていました。

電化製品の導入、農業の機械化、農家住宅の改築が進み、生活様式や生産様式の変化にはめざましいものがありました。それによって古いものは不要とされ、骨董価値のあるものは古物商が買いあさり、無用となった民具などは焼却されたり、山野に捨てられるのが散見されました。

このように失われつつあった民具を組織的に収集するようになつたきっかけは、只見・朝日・明和地

区にあった三つの公民館と教育委員会で構成する社会教育連絡会の活動からでした。

当時、只見・朝日・明和の各公民館には、非常勤の館長と常勤の主事がいいて、共通する事業として「只見町公民館報」を発行し、講演会や講座などを分担して開き、その連携を図るために毎月定例会を開いていました。この中で、民具の保存対策は、たびたび話題となっていました。そして、それを進める契機となったのは、『民俗資料収集の手引き』という一冊の本との出会いでした。

昭和四十年、成法寺観音堂の復元工事が着工となり、その実施市町村を対象にした文部省主催の文化財指導者研修会が東京で行われたときのことです。担当者だった筆者が参加し、講義のなかで使われたのが、その本でした。内容が只見町の直面している民具の現状をよく示唆しているものだったので、その場で一〇部注文して帰りました。これは社会教育連絡会に報告され、緊急の課題として「すぐにやろう」と動き出したのです。

「只見町公民館報」の四十年十二月号に次のような記事を載せています。

『生活文化財を保存しよう』

最近の生活様式の変化、生産様式の変化はめざましいものがあり、古いものは急激に失われつつあります。(中略)捨てる前に公民館に一報頂ければ、保存処置を講じます。(略)農具や生活用品などの主な品名を例示して町民に呼びかけました。これが只見町における民具収集のはじまりとなります。

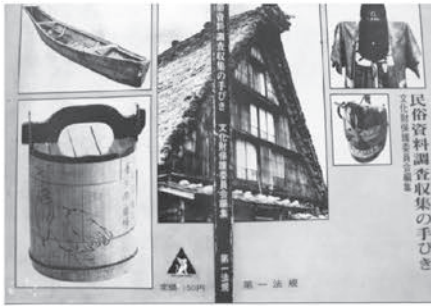
翌四十一年度の町社会教育委員会の目標には、「民俗資料の発見と保存」の項目が新たに設けられ、事業として「民俗資料調査」をすることを掲げまし



▲民具の收藏庫として使われた電発診療所（只見字町下）

た。民具の収集は、公民館事業として全町的かつ本格的に行われることになったのです。(只見町公民館報「四十一年六月号」)。

さらに、民具の収集には、かなり広い収蔵場所が必要となります。そこで目をつけたのが旧電発診療所の空施設でした。只見字町下の町民野球場付近にあった電発診療所が閉鎖されたばかりで、収蔵場所として提供してもらったことになったのです。当初三地区で集めた民具は、スクールバスで運び込み、ここにすべてを収容することができました。民具の収集活動は、ようやく順調に進むようになったのです。



▲民具収集のきっかけとなった本「民俗資料収集の手引き」



町民文芸

只見短歌会

九月詠草

大塚栄一

指導

汗流し草取り終へてもろこしと瓜とトマトの昼餉食みをり

小倉キミ子

吾亦紅豊かに活けて十五夜の供へを夫は早々と終ふ

古川 英子

作り手の労苦を思ひ眺め行く秋の稔りにコスモスそよぐ

関谷登美子

家出でし孫如何にして過ごせるや電話のくるを恐るごと待つ

馬場 八智

外泊の父の靴下脱がせれば浮腫みし脛にゴム跡残る

新国由紀子

大型の台風逸れるを願ひつつ倒伏案じ稔り田巡る

渡部ゆき子

幼孫裸足で兄を追ひかける笑顔を見れば何も言はれず

目黒 富子

千年の時経ると言ふ大銀杏新宮の庭の黄に目を見張る

五十嵐夏美

天候を心配しつつの稲刈りに夫は予報を聞きて準備す

渡部ヨリ子

耳遠くなりたるわれかちぐはぐな返答に子は労り笑ふ

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

十月例会

目黒十一

指導

山稜の影を重たく秋の暮

笑 羊

秋の蝶入る窓開き農具小屋

月見草列車通らぬ只見線
初もみじ孫の寝顔の宮参り

信

紅葉山無限につづく只見ダム

リウコ

秋日和終日ひびく機械音

エプロンの揃いの姿敬老日
高校生の仮装行列やんま飛ぶ

邦 男

上下して行き交う雲や秋の天

都

朝寒や布団蹴とばす子等にか

産土の神へ実りの秋祭
独り者蠅も昼飼の相手とし

又壺歩

溝蕎麦やあなおそろしき深みあり
沢ぐみよ渋さの後の無口なる

洋 子

休耕の二年目背高泡立草
二人居に陰膳ひとつ九日餅

恒 夫

名月や障子に揺れるグリーンカーテン
仲秋や雲ひとつなき月仰ぐ

一 穂

我が里は野山の錦如くは無し
子供らの帰れば釣瓶落しかな

吉 児

記憶追う色なき風を追うごとく
釣り場へとけものみちめく芒原

礼

桃吹くや上海戦を思い出す
爽やかに東京五輪決定す

邦 夫

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
	☎84-2101
こぶし苑	☎84-7005
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

RECRUITMENT

募集

町民文芸コンクール 作品募集中

第37回町民文芸コンクールの作品を募集します。皆様のご応募をお待ちしています。

●応募部門・資格

▽作文の部

町内小・中学生

▽詩の部

町内小・中学生、高校生、一般町民

▽俳句の部

町内小・中学生、高校生、一般町民

▽短歌の部

町内小・中学生、高校生、一般町民

●応募規定

【部門共通のきまり】

①題は自由(短歌、俳句はつけなくてもよい)

②用紙は400字詰原稿用紙を使う。HB以上の濃い鉛筆を使う。

用すること。ワープロ原稿も可能としますが、20字×20行の書式で作成すること。

③作品は未発表のものに限ります。

【作文の部】

①小学生は、原稿用紙3枚以上5枚以内とする。

②中学生は、原稿用紙4枚以上6枚以内とする。

【詩の部】

①原稿用紙5枚以内とする。

【短歌・俳句の部】

①各々一人1作品とする。

●応募方法

小・中学生及び只見高校生は

学校へ、それ以外の方は教育委員会に直接お届けください。また、作品には必ず住所・氏名(ふりがな)・年齢を記入してください。

作品は原則として返却いたしません。

●応募締切

平成25年11月29日(金)

●審査・入賞

部門ごとに審査し、結果を「広報

報ただみ」で発表します。また、入賞は本人に通知し、表彰式を行います。

▼問い合わせ

教育委員会事務局

☎0241-82-5320

南会津地方統一 防火標語

秋季火災予防運動の一環として、

防火標語を募集します。最優秀作品は南会津地方統一防火標語として防火ポスターをはじめ広く活用されます。

●募集期間

11月25日(月)～12月15日(日)

●募集対象者

南会津管内に在住の方

●募集テーマ

火災予防に関するPR標語

●応募方法

官製はがきまたは電子メー

ルで防火標語(それぞれ一通につき標語5点まで)を書き、住所氏名(ふりがな)、年齢、職業及び電話番号を必ず明記のうえ、次のあて先に送付または送信してください。

なお、お一人で何通応募されても結構です。

●応募先

〒967-0004

南会津郡南会津町田島字西上

川原乙65

南会津地方広域消防本部内

南会津消防設備協会

「防火標語」係

メールアドレス

boukaiyongou@live.jp

●発表

新聞紙上で発表するとともに、入賞者には直接通知します。

▼問い合わせ

南会津消防本部予防課内

南会津消防設備協会事務局

☎0241-62-2141

税 今月の納期

11月25日までに

納めましょう

●町民税(3期)

●国民健康保険税(5期)

●農集排使用料(11月分)

●後期高齢者医療保険料(4期)

●介護保険料(5期)

事業主の皆さん、労働保険の加入手続はお済みですか? 11月は「労働保険適用促進強化期間」です。

正社員、パート、アルバイトなど雇用形態にかかわらず、一人でも労働者を雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。詳しくは、福島労働局総務部労働保険徴収室(☎024-536-4607)又は最寄りの労働基準監督署、公共職業安定所(ハローワーク)へご相談ください。

消費税及び地方消費税が変わります

平成26年4月1日から消費税及び地方消費税の税率が8%に引き上げられます。

また、今回の引き上げに際し、消費税の円滑かつ適正な転嫁を確保するため、消費税転嫁対策特別措置法によって、次のような措置が設けられました。

1 総額表示義務の特例

税込価格であると誤認されないための措置を講じていれば、税込価格による表示をしなくともよいとする特例（表示例：100円（税抜き））

2 転嫁拒否等に関する措置

事業者間の取引で、税率の引き上げ分の転嫁を拒んだり、チラシや店頭で転嫁を阻害する表示（例えば、「消費税は転嫁しません。」等の表示）を規制する措置。

詳しくは、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）をご覧ください。

町長の手帳

町長スケジュール〈10月分〉

- 1日 教育委員辞令交付式、文化祭実行委員会、庁議
- 2日 ICTを活用した地域づくりセミナー
- 3日 南会津会打合せ会議
- 4日 会総協県への要望活動
- 6日 只見高校振興対策懇談会
- 8日 南会津会評議員会・理事会、南会津広域市町村圏組合管理者会、南会津地方衛生組合管理会、南会津地方町村連絡協議会懇談会
- 9日 只見町議会10月会議
- 10日 J R東日本仙台支社要望活動
- 11日 保育関係者打合せ会議
- 13日 只見町秋季消防検閲式
- 14日 磐梯町ミニライスセンター視察
- 15日 下田商工会「八十里越交流事業」懇談会・懇親会
- 17日 福島県町村会役員会、国会議員(与党議員)との意見交換会
- 18日 只見金山町民号(～19日)
- 20日 只見町駅伝大会
- 21日 会総協記念講演、会総協50周年記念式典・祝賀会
- 22日 只見町表彰式
- 23日 しあわせ金婚夫婦表彰式
- 25日 ユネスコ・エコパーク国内ネットワーク会議(～26日)及び懇親会
- 27日 ユネスコ・エコパークシンポジウム
- 28日 南会津広域圏組合管理者会、只見川災害現場見視察会、会総協J R関係打合せ会
- 29日 全国市町村長防災特別セミナー(～30日)
- 31日 林道災害復旧事業県要望活動、新県立病院改革プラン検討委員会

「ユネスコエコパーク ネットワーク会議を終えて」

9月にユネスコエコパーク登録申請地として正式決定されてから、只見を“ふるさと”とする人達から祝福のメッセージを頂いたり、ふるさと応援基金にもユネスコエコパーク事業と名指しでこれからの事業展開に期待される方々の応援金も届くようになりました。只見を離れていてもいつでも“ふるさと”のことを思い心にかけて頂いていることを思うとき、短い一言に込められた暖かいメッセージは本当にありがたく我々にとって大きな励みになります。

先月の末に第1回目のユネスコエコパークネットワーク会議が只見町で開かれました。遠く南は鹿児島県の屋久島から、宮崎県の綾町、富山・石川・福井・岐阜県の4県にまたがる白山地帯、長野・群馬両県にかかる志賀高原、三重・奈良県の大台ヶ原・大峰山、静岡・山梨・長野県に広がる南アルプス地帯の方々からユネスコエコパークの取り組みに関する現況報告を受け、情報交換と交流の促進が図られましたが、目指すところは同じ地域特有の自然や文化を活かし、里山里地を守り活用できる人材を育て、地域経済の循環を創り未来社会に繋いでゆくこと。

情報交換できるネットワークができたことは大変心強く、なお一層の町民の幅広い理解と参加を求めながら着実に、そして外向きにも事業の推進を図るべく意を強くしたところです。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(10月1日～10月31日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとございます

岩 佐 朱 乃 (男/俊 祐・幸) 黒 谷
渡 部 碧 音 (男/賢 史・由紀子) 福 井

■ご結婚おめでとございます

館ノ川 酒井 修♡只見 目黒あゆみ
只見 馬場 諒♡伊達市 大槻 あい
只見 吉津 年浩♡会津若松市 湯田小百合
大 倉 酒井 克海♡猪苗代町 小檜山千花
福 井 渡部 憲♡福 井 五十嵐宏子

■おくやみ申し上げます

諏 佐 泰 一	79歳	梁 取
吉 津 キヨノ	87歳	黒 谷
目 黒 チエ子	88歳	只 見
三 瓶 高 子	79歳	蒲 生
渡 部 トヨノ	98歳	小 川
角 田 アヤノ	97歳	長 浜

人のうごき

平成25年10月1日現在

人 口	4, 686 (－ 3)
男	2, 267 (± 0)
女	2, 419 (－ 3)
世帯数	1, 823 (± 0)
高齢化率	42.2%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 6 転出 6 出生 2 死亡 5

あとがき

▽広報誌の担当になりあつという間に半年が過ぎました。今回で7回広報誌を発行しましたが毎月レイアウトに悩まされます。また失敗も多いです。そんな中、広報ただみを購読して頂いている方から先月号の表紙良かったよと言って頂きました。写真は広報担当になるまでデジカメか携帯電話でしか撮った事が無く本当に素人なのでカメラの性能のおかげだと思っておりますが、また「良かったよ」と言って貰えるように勉強をして良い写真が撮れるように頑張りたいと思います。

(吉津)

町民憲章

- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

まちづくり推進員
渡部 敦子

明和地区センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★そらみみ植物園



西島清順/著
(東京書籍)

著者は150年続く老舗植木屋の5代目。とは言ってももともと植物には一切興味がなかったのだとか。21歳のとき、ボルネオの高山である植物に出会い人生が一変、今では世界中を有用な植物や新種の観葉植物を求めて冒険するプラントハンターとして活躍されているのだそうです。そんな彼が今までに出会った一癖も二癖もある植物を裏話とともにユーモラスに紹介。24時間365日植物のことばかり考えているという著者独特の目線で見た植物の姿に、驚いたりニヤニヤしたりできる1冊です。気になる方は、ぜひ読んでみてください。

★ニャンともクマったもんだ



新井洋行/著
(えほんの社)

子どもたちが大好きなダジャレの絵本。ねこのカネコさんとクマのクマダさんが紹介してくれるのは「ニャンともクマった」仲間たち。「きぜつするくライオンちなライオン」「おなじょくばかりヘビーローテーションするヘビ」などなど愉快的な動物たちばかり。秋の夜長、読み聞かせて親子で笑っちゃいましょう！

小説は直木賞受賞作『ホテルローヤル』、人気の池井戸潤によるドラマ原作『七つの会議』など。話題の『日本国憲法を口語訳してみたら』もおすすめです。絵本も10冊購入しました。全タイトルは明和地区センターブログ(<http://meitiku.blog.fc2.com/>)をご覧ください。

どうして穴が無いのに虫が？



オトシブミ科 チョッキリ亜科

和名：ハイロチョッキリ

学名：Cyllorhynchites ursulus

秋も深まり、今年もクリやドングリ拾いをしたという人も多いと思います。ただ、「置いておいたらイモムシがたくさん出てきた！虫食いを確認したのに何で？」という経験が皆さんありますよね。このイモムシ、皆さんは、クリムシと呼んでいると思いますが、クリムシは、クリなどの果実を加害する昆虫の幼虫の総称で、実際にクリムシという名前の虫がいるわけではありません。

クリやドングリを加害する虫は沢山いますが、今回はドングリについて、紹介します。ドングリを加害する虫の代表として、クリシギゾウムシ、コナラシギゾウムシ(ゾウムシ科)とハイロチョッキリ(オトシブミ科)という虫がいます。

これらの虫は、ドングリが未熟な若い時期に産卵管を差し込み、卵を果実内に産み付けるので、産卵の痕はドングリが成長するとともにふさがれてしまいます。穴が無いのに虫が出てくるのはこのせいです。

只見町には、ハイロチョッキリというオトシブミ科の虫が生息していますが、この虫は、まだ果実が若いうちに卵をうみつけ枝ごと切り落とします。コナラの枝が、ドングリが付いたまま何本も落ちている現場に出くわしたら、こいつの仕業かもしれません。

一方、ゾウムシの仲間は若い果実を枝ごと切り落とすことはせず、自然に落下するのを待ちます。

ドングリを工作などに使いたいという方は、拾ってきたドングリをバケツなどに入れ熱湯にかけて一晩おいたあと、新聞紙などに広げ乾燥させた後に使いましょう！

企画展示

只見の自然に生きる！
只見町の野生動物とその生態

期間 10月12日(土)～12月28日(土)まで

詳しくは、
只見町プラセンター
までお問い合わせ
ください

只見町に生息する野生動物とツキノワグマの生態や人との関わりを解説パネルなどで紹介します。剥製や頭骨、関連書籍などの展示もありますので、お問い合わせの上ご来場ください。